※令和3年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　食物文化　　科

教科	専門・家庭	科目	食品衛生Ⅱ	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書	新調理師養成教育全書　第3巻「食品の安全と衛生」 全国調理師養成施設協会						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

食品衛生学Ⅱでは、引き続き食品の危害物質、安全対策について、寄生虫による危害、化学物質、食品添加物、容器包装を中心に学習します。2年次に続いて、教科書での予習、配布プリントでの復習とともに、小テストなどを活用して理解を深めてください。また、普段の生活でも食の安全に関する報道や記事、書籍などにも関心を持ってください。

2　学習の到達目標

・食品安全対策について理解する
・寄生虫や経口感染症などの飲食による危害について種類や原因物質を理解し、予防できる知識を身につける
・食物アレルギーについて、機序を理解し、調理師としての課題について知識を得る
・食品と共に体内へ取り込まれる化学物質や食品添加物について、安全基準などを理解し、食品衛生上の課題について知識を得る

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	安全で衛生的な食生活の実現を目指して自ら学び食品衛生に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	食生活の現状から食品衛生に関する課題を発見し、安全で衛生的な食生活の実現を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食生活の安全と食品衛生対策について関連する技術や人に伝える表現を身につける。	食生活の安全と食品衛生対策について知識を身につけ体系的・系統的に理解できたか。
評価方法	・授業への取り組み ・提出物（レポート）	・定期テスト ・小テスト	・班別による調べ学習およびプレゼン発表 ・授業への取り組み ・提出物（レポート）	・定期テスト ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	飲食による健康危害	・寄生虫食中毒 概要…海産魚介類/淡水魚介類/食肉/野菜/飲料水 ・寄生虫食中毒の予防	○	○		○	寄生虫症とその予防について、DVD視聴などにより、具体的な事例から知識を身につける。	小テスト
		・経口感染症 ・その他の健康危害	○	○		○	食中毒以外の飲食による健康危害を理解し、知識を身につける。	小テスト
		・食物アレルギー	○	○		○	食物アレルギーの機序・種類・表示等を理解し、調理師としての対応を考える。	小テスト レポート
	食品安全対策	・調理作業時における安全対策　洗浄・消毒・殺菌	○	○		○	安全対策としての洗浄・消毒・殺菌方法を正しく理解する。	小テスト
		・期末考査		○	○	○		定期考査
2学期	食品衛生実習	・食品微生物実習 ・食品添加物実習	○		○		食品の安全や品質確認の手法を知り、実践後、結果より自分の考えをまとめられる。	レポート
	食品と化学物質	・食品添加物概論 関係法規安全性の評価/表示	○	○			食品添加物の使用目的・用途・使用基準・表示や関連法規を学び、メリットやデメリットについて十分考察し、改めて身の回りにある食品について表示を確認し、食品のあり方について考える。	小テスト グループワーク プレゼン発表 レポート
		・主な食品添加物とその用途 保存料/防ばい剤/殺菌料/酸化防止剤/発色剤/甘味料/着色料/漂白剤/安定剤/着香料/被膜剤/品質保持剤/pH調整剤/栄養強化剤/調味料/膨脹剤/その他	○	○	○			
		・ヒ素および重金属 ・食品と放射性物質	○			○	有害物質による食品の汚染とその予防について理解する。	小テスト
	食品安全対策	異物混入防止対策	○	○		○	異物混入の原因を理解し、対策を立てることができる	小テスト
		・期末考査		○	○	○		定期考査
3学期	器具・容器包装の衛生	・器具・容器包装の衛生 概要/取り扱い…ガラス/陶磁器/ほうろう/ゴム/プラスチック/金属/その他	○			○	各器具・容器包装について、食品衛生上の規定を理解し、その材質や特性を知り、調理に合わせた適正な用途と使用方法を選択できる。	小テスト
		・期末考査 ・食品衛生学まとめ		○	○	○		定期考査

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:技能　d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。